



日本学術会議 学術フォーラム

主催 日本学術会議

後援 日本地球惑星科学連合

急激に変わりゆく 地球環境と国際情勢

地球惑星科学の国際連携・国際協調

令和 7 年

7/12

土曜日 13:00 ~ 17:30



場所 日本学術会議講堂

東京都港区六本木 7-22-34

ハイブリッド開催

参加費無料

お申込み | <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0317.html>

申込締切 | 7月8日(火) 事前参加登録をお願いいたします

問合せ | 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 TEL 03-3403-6295



日本学術会議は、国際学術会議（ISC）に加盟する国際的な学術連合や科学委員会を通して国際的な学術活動を行っています。なかでも、地球惑星科学はそのような国際組織が数多くあり、各国の科学者が国際連携で、我々の住む地球に関する科学の推進や、人類が直面する種々の課題の解決に取り組んでいます。近年、急激な地球温暖化が進み将来の生存が危惧されています。一方で国際情勢では国家間の対立が顕在化し、国際協力・国際連携がある意味難しくなっています。この学術フォーラムでは、このような変化の中で、今後の連携の維持・深化、日本の果たす役割、次世代への責任など、国際的な学術組織との連携の最新の状況を共有して皆様と考える場を持ちたいと思います。

プログラム

総会司会 原田 尚美 （日本学術会議連携会員、東京大学大気海洋研究所附属国際・地域連携研究センター教授）	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶 日比谷 潤子 （日本学術会議第一部会員、日本学術会議副会長、国際基督教大学名誉教授）
13:05 ~ 13:15	開会の挨拶及び趣旨説明 中村 卓司 （日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所教授）
13:15 ~ 14:10	セッション1 急激に変化する自然や環境に対応する科学と活動 司会・コーディネータ 堀 利栄 （日本学術会議第三部会員、愛媛大学大学院理工学研究科教授） 気候変動を明らかにする－未来の地球のための WCRP（世界気候研究計画）による知の挑戦－ 春日 文子 （日本学術会議連携会員、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科／プラネタリーヘルス学環教授） 北極の急速な環境変化と新しい社会－ IASC（国際北極科学委員会）の現況と挑戦－ 榎本 浩之 （日本学術会議連携会員（特任）、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所副所長、特任教授） 太陽活動変動が地球環境を変えるか？－ SCOSTEP（太陽地球系物理学・科学委員会）の現況と挑戦－ 塩川 和夫 （日本学術会議連携会員、名古屋大学宇宙地球環境研究所所長／教授） 質疑応答・パネルディスカッション
14:10 ~ 14:25	休憩
14:25 ~ 15:40	セッション2 激動する国際情勢に対応する科学活動とルールづくり 司会・コーディネータ 三枝 信子 （日本学術会議第三部会員、日本学術会議副会長、国立研究開発法人国立環境研究所理事） 地政学の問題と地質データ活用の最前線－ IUGS（国際地質科学連合）を取り巻く国際問題 掛川 武 （日本学術会議連携会員、東北大学大学院理学研究科教授） 南極大陸をめぐる今後の国際協力と地球環境－ SCAR（南極研究科学委員会）の現況と挑戦－ 中村 卓司 （日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所教授） 海洋と気候の変動を知る－ SCOR（海洋研究科学委員会）の現況と挑戦－ 張 勁 （日本学術会議連携会員、富山大学副学長／学術研究部理学系教授） 宇宙開発の新展開と国際ルール－ COSPAR（宇宙空間研究委員会）の現況と挑戦－ 藤本 正樹 （日本学術会議連携会員（特任）、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、所長） データ取扱の国際ルール・実践の最新状況－ WDS（世界データシステム）の挑戦と国際動向 村山 泰啓 （日本学術会議連携会員、国立研究開発法人情報通信研究機構 NICT ナレッジハブ上席研究員） 質疑応答・パネルディスカッション
15:40 ~ 15:55	休憩
15:55 ~ 17:10	セッション3 持続可能な社会を維持するための基礎的科学と活動 司会・コーディネータ 西 弘嗣 （日本学術会議第三部会員、福井県立大学恐竜学部学部長／教授） 地球環境変動と人類の歴史を明らかにしてきた－ INQUA（国際第四紀学連合）の現況と挑戦－ 齋藤 文紀 （日本学術会議連携会員、島根大学エスチュアリー研究センター特任教授） 地球内外の構造と変動を明らかにする－ IUGG（国際測地学及び地球物理学連合）の現況と挑戦－ 佐竹 健治 （日本学術会議第三部会員、国立中央大学（台湾）教授） 鉱物が語る－ IMA（国際鉱物学連合）の現況と挑戦－ 土屋 旬 （日本学術会議連携会員、大阪大学理学研究科教授） 持続可能な社会づくりへの挑戦－ IGU（国際地理学連合）の取り組み－ 鈴木 康弘 （日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授） 地図・地理情報が地球の現実と人をつなぐ－ ICA（国際地図学協会）の現況と挑戦－ 伊藤 香織 （日本学術会議連携会員、東京理科大学創域理工学部建築学科教授） 質疑応答・パネルディスカッション
17:10 ~ 17:25	総括コメント 春山 成子 （三重大学名誉教授） 氷見山 幸夫 （北海道教育大学名誉教授）
17:25 ~ 17:30	閉会挨拶 佐竹 健治 （日本学術会議第三部会員、東京大学名誉教授）
17:30	閉会